

第6回(仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会 会議録

<開催概要>

日時：令和6年2月29日(木) 午後5時から午後6時30分まで

場所：宇治産業会館多目的ホール

<出席者>

会長 川池 健司

副会長 大庭 哲治

委員 多々納 裕一・杉本 一久・藤田 佳也・玉置 栄・中村光宏【代理】

事務局 齊藤 裕二(技監)・伊藤 樹(理事)

米田 晃之(都市整備部長)・藤井 康博(都市整備部副部長)

中本 洋(都市計画課長)・森田 宏紀(都市計画課副課長兼都市計画係長)

岩田 知浩(都市計画課主査)・藤田 麻侑子(都市計画課主任)

<傍聴者数>

8名

<会議次第>

1. 宇治市未来につなぐ都市づくりプラン(案)について

(会議資料)

宇治市未来につなぐ都市づくりプラン(案)

資料1 宇治市未来につなぐ都市づくりプラン(初案)にかかる市民意見および修正箇所について

参考資料1 宇治市未来につなぐ都市づくりプラン(初案)に関するパブリックコメントの概要
及び市の考え方について

参考資料2 宇治市未来につなぐ都市づくりプランにかかる公聴会の開催結果

<会議概要>

《1. 宇治市未来につなぐ都市づくりプラン(案)について》

京都大学防災研究所 教授 川池 健司氏 (以下、「川池会長」)	・ 次第1「宇治市未来につなぐ都市づくりプラン(案)について」事務局から説明を。
事務局	・ <資料説明>
川池会長	・ 事務局の説明について、ご意見・ご質問等があれば。
京都大学防災研究所 教授 多々納 裕一氏 (以下、「多々納委員」)	・ 私の方から少しだけ。たくさんのご意見をいただいたということは関心がたくさんあるということだと思ふ。 ・ 位置付けの観点で言うと、この計画は都市計画マスタープランのアクションプランという形かと思う。資料のご説明でもあったように、定期的な見直しの際に、具体的にどういう形でそれを見直すのかというところで見たとときに各指標というものが整備されており、それで議論

	<p>されるようになるという意味では一歩前進だろうと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ご説明いただいた形で修正はほぼ適切にされていると思うが、若干気になるのは、計画の前半に色々と図表がある。ただ、こちらの図表のデータが少し古いものがある。今回、これを修正する必要があるとは言わないが、見直しの際には、その時点の最新のものに差替えていただけると良いと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 102 ページに都市計画マスタープランと同じ図を入れているが、変化が激しいこの時代にあって予測をし、計画をし、実施そして検証していくということを繰り返しながら本プランを更新していくということが理念としてあると考えている。 そういう意味では、この図表も現時点で使えるものとして使用しており、今後は定期的に見直しをしていく形になるので、その時に新しいデータに更新していきたいと考えている。あわせて評価の指標も、その時点で考える最善のものを採用にしていくよう検討していきたいと考えている。
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> よろしくお願ひします。多分、人口や高齢化率、空家率、バス停へのアクセス状況など、後半に出ている指標として決めたもの以外にそれらの状況を理解する重要なデータが載っていると理解している。そういったものは、出来れば最新のものを使っただければと思う。あと、令和や平成とか書いていると分からなくなるので、今後は西暦で統一された方が良いと思う。
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。他はいかがでしょうか。
京都大学 経営管理研究部准教授 大庭 哲治氏 (以下、「大庭副会長」)	<ul style="list-style-type: none"> 私からは2点。資料1の12ページの修正箇所の冒頭で公共交通に関する修正案を示していただいている。このご指摘は充足しているところを非常に気にされていて、量だけでなく質として充足しているのかという質問ではないかと思う。 修正案については、概ね暮らしやすいという形で質問されているので、非常に十分な対応はなされているのだろうと認識はしているところだが、この部分について問題がないのかどうかというのは判断がいると思った。 もう1点は、「誘導する都市活動」を、「目指すべき都市活動」に修正されている点です。目指すべきというより目標とする、といった表現の方が適しているのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通についてはご意見の通り、質までが充足しているのかどうかという表現が曖昧であったと考えている。そのため、書かせていただいているように公共交通体系基本計画に載っている表現を使い修正した。 2点目に、確かに「目指すべき」となると、その時点時点で目指すべきところが変わってくる可能性があるため、ご指摘を踏まえて、最終

	<p>的については会長と相談の上、検討させていただければ。</p>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> • 確かに目指すべきという表現は受け取る方により様々だと思う。また事務局と相談させていただきたい。 • また公共交通について、確かに数値で見えていくと概ねカバーされていると思うが、個別のケースで見えていくと、やはり解析する余地というか、もっとこうして欲しいという希望もあろうかと思う。今すぐではないが、今後、時間的な指標で見るとどうなのかという視点で見えていく必要もあるかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 時間的な視点も公共交通ネットワークの質として重要と考えられる。今、交通政策課でもいろいろなご指摘等もいただいて議論させていただいているところ。また、見直しのタイミングで新たな局面があるかと思うので、その際にはこういう視点からの内容も盛り込んでいくのが大事だと考えている。
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> • 確かに充足というのはさすがに言い過ぎだと思う。比較的充実しているという風に書いていけば、現状に近かったのかなと。 • 公共交通ネットワークに恵まれた都市というのも言い過ぎかなと若干思いました。むしろ、私鉄とかJRとか複数路線走っていないまちがたくさんあるわけで、そういうところに比べれば恵まれているわけですが、相対的にとか比較的にとか、そういうものを入れても良いのかもしれない。 • 後ろの方の書きぶりは、概ね暮らしやすいので少し工夫されているところで、多分間違いなく他の地域に比べて充実しているところもあると思うのですが、その質が極めて高いとかそういう話は多分ないので、そこらあたりのところを分かるように少し表現を和らげてもらった方が良いかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 先ほど冒頭でご説明させていただいた通り、その他の計画の表現を一定踏襲しながらまとめているところがある。そのため、いただいたご意見については、最終、会長とご相談させていただきながらまとめさせていただきたい。
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> • もう1点の「目指すべき」という表現ですが、そこまで拘らなくても良いんじゃないかと思う。表現を変えてもどのくらい違うのか分かりにくい。ここで言いたいのは、将来そうなって欲しいと思っている都市活動のイメージであり、それに対応する良い言葉があれば良い。今、直ちに思いつくわけではないのですが、「目指そうとする」くらいの方が適切かもしれない。
宇治市民間保育連盟 会長 杉本 一久氏 (以下、「杉本委員」)	<ul style="list-style-type: none"> • 意見ということではないが、いろいろな商業施設で子育て関連のご意見をいただいたのは非常にありがたい。 • 9ページのところ、ご説明の中では、今から私が話そうとしているようなことが含まれていたの、ここにあらわれている文字だけの話だ

	<p>が、2番目のところで「子どもたちが暮らしやすい」とあるが、子どもを主語として考えると「子どもが暮らしたい」なのではないか。子育てするときは親が主語になりますが、子どもが主語の時は、子どもにとって魅力あるということが大事で、それは「暮らしたい」となると思った。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> これにつきましてご意見として出されたものをそのまま掲載させていただいた。しかし、子どもたちが主語になった場合はそうなのかなと思うので、その辺りについては今後の参考にさせていただきたい。
社会福祉法人 宇治市社会福祉協議会 常務理事 藤田佳也氏 (以下、「藤田委員」)	<ul style="list-style-type: none"> 今回、パブリックコメント、公聴会、説明会、スーパーマーケットでのオープンハウスなど様々な手法を使って、たくさんの市民の皆さんの意見を聞かれましたが、大変評価されることではないかと思う。こうした都市計画関係の計画でこれだけの意見が集まるということは今までなかったと思う。 こうやって市が仕事を進めているんだという姿を見せていくためにも、こうした形でされていくことはとても重要なことではないかなと改めて思った。 居住誘導区域の線引きとかについてはほとんど意見がなくて、皆さんがどこまで読み込まれているのかちょっと分からないところがあるが、いただいた意見の中で、公共交通のことやその他いろいろのご意見をいただいているが、超高齢化のなかでは公共施設にアクセスしにくい人たちが増えるのは間違いない。今後、質に応じて、しっかりと見直しもしながら市民協働で頑張ってください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントや説明会はこれまでも様々な計画を作る際にやらせていただいている。まちづくりオープンハウスについては、都市計画マスタープランを作成する時に、市内10箇所の公共施設でやらせていただいた。今回は新しい試みということで、商業施設にご協力いただいた。非常に多くの人が集まる場所で実施し、その場で足を止めて内容を聞いていただき、その場の印象でお答えいただいたのはひとつまた意味があったのかなと思っている。このことは庁内でも共有していきたいと思う。 エリアの設定について意見がなかったということがあるが、これについては実際の運用をするなかでいろいろと意見も出てくる可能性があるので、今後、しっかりと評価をしていく必要があると考えている。
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりオープンハウスはかなりたくさんの意見が出ている。パブリックコメントでは意見をいただいた方の属性など9ページあたりにデータがありますが、オープンハウスに来られた方が市外から来られ方なのか、意見聴取の機会がどのぐらい浸透していたのかといった情報もお分かりでしたら教えてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 知り得た情報というのはこの資料に掲載しており、これ以外の情報は

	<p>持ち合わせていない。説明会や公聴会では、参加者が少なかったこともあり、PR の仕方をもう少し考えた方が良いのではないか、という意見もいただいている。今後は、ご指摘頂いたような情報収集も含めて参考にさせていただければ。</p>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> このプランは5年毎に見直すということだが、その際にも市民の方からの意見を聴取する機会をもうけるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 5年毎の見直しについては、その時の状況をみながら判断をすることになるかと思う。
国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課長 玉置 栄氏 (以下、「玉置委員」)	<ul style="list-style-type: none"> プランの冊子の106ページにあるバリアフリー新法に基づくバリアフリー化済鉄道駅数の評価指標について、先ほど市内の鉄道駅は14駅あるとの説明があり、残り2駅がまだバリアフリー化されていないと思うが、残り2駅はバリアフリー化していくのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 残り2駅については、既にバリアフリー化に向けて取り組んでいるところ。
玉置委員	<ul style="list-style-type: none"> それであれば目標値として14駅もしくは100%としておいても良いのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどご説明いたしました目標値の考え方として、総合計画など他計画とリンクしている指標については、20年後の目標値と他計画の短期的な目標値との整合性を考慮して本プランではあえて目標値を設定せず、目標の方向性を矢印でお示ししている。 一方この項目においては14駅すべてをバリアフリー化し100%となることから、100%の達成率を目指して市の施策として既に取り組みを進めているものについては、そういった整理も可能かと考えるので、その方向で会長と相談の上、検討させていただければ。
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> 21ページの公共施設の改修方針に関わる将来費用と書いている図に2つ線がひいてあって、1つめが財政フレームで、もう1つが長寿命化パターンと書いているが、財政パターンとはなんなのか。これだけだと分かりにくいので、もう少し補足してもらえると分かりやすい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 我々の方でもすべて認識できていないところがあるので、補足をさせていただくように検討する。
杉本委員	<ul style="list-style-type: none"> 105ページの市民の愛着度のところですが、「子育て世代に選ばれる」となってしまっていて、大人が主役になっています。そうならざるを得ない部分もあるかもしれないが、もし書けるのなら「子どもに選ばれる」というような書きぶりになるとよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 出典にあるように、総合計画策定のための市民アンケート調査を掲載させていただいている。
杉本委員	<ul style="list-style-type: none"> 子育て会議の方で、子どもに対するアンケートというのがあるが、そ

	<p>ちらも確認したところ若干古いようだ。少し前に国のガイドラインが出てそれを適用されたようで、この3月にはニーズ調査を実施するようだ。</p>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> • 今のご意見に関して、この基準値について、全体と20代～30代と分かれているが、私自身40代で子育て真っ最中です。自分がそうだからということではないが、40代はプレイヤーとしては少ないのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 先ほども説明させていただいたようにアンケート調査の結果を掲載させて頂いており、データの括りについて確認をさせて頂く。
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> • 了解した。他に意見等はないか。
	<p>《意見特に無し》</p>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> • 以上で、委員会としては「宇治市未来につなぐ都市づくりプラン(案)」がとりまとめられたことを、委員の皆様にご確認頂いた。